

基本事業コード	05040001	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	スポーツ振興事業		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
			総合振興計画 86 ページ

基本事業の概要	スポーツ振興計画に基づき、市民のスポーツ活動の促進に寄与し、競技団体・関係団体が円滑な運営を出来るよう必要な援助を行う。
---------	--

対象	スポーツを行う団体等
意図 (対象をどのようにしたいか)	円滑にスポーツ振興を行えるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
補助金等支出団体数(姉妹都市交流+体協・スポ少・レク協)	活動指標	団体	17	20	16	20	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	スポーツ推進審議会開催事業	指標 審議会開催数			2	回	B	
		109,600	109,600	155,000	1		維持 拡充	
02	スポーツ指導員等活用事業	指標 活動回数			10	回	B	◎
		1,355,352	1,660,368	1,583,000	6		維持 拡充	
03	★ 各種団体助成事業	指標 支出団体数			3	団体	B	
		6,601,000	6,398,000	6,548,000	3		維持 拡充	
04	スポーツ奨励事業	指標 対象件数			30	件	B	○
		471,570	700,202	524,000	9		維持 拡充	
05	スポーツ交流事業	指標 交流団体数			15	団体	B	
		440,000	520,000	640,000	13		維持 拡充	
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		9,818,000	10,287,000
事業費の合計(円) (A)		8,977,522	9,388,170
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
正職員	地方債		
	その他特定		
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	8,977,522	9,388,170
	業務量	0.86人	0.86人
人件費(B)		5,110,340	5,177,631
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		14,087,862	14,565,801

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は、体育協会に加盟する競技団体や各種スポーツ少年団、レクリエーション協会などの活動を支援し、また交流事業は実施団体に委託して、実施してもらっている。より多くの団体に交流事業を実施しながら市全体のスポーツ振興を図るための指標としている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 構成した事務事業に、秩父市のスポーツ振興に関わる団体が網羅されているため妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 市のスポーツ振興事業の実施主体である各種スポーツ団体は、それぞれ運営面でも自主自立した団体であるが、必要な助成や市営スポーツ施設利用での費用負担の軽減などで、円滑に各種事業を進めているが、今後、市の財政負担が縮小されることが予想されるため、団体ごとの自主財源等検討していかなければならない。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 市の生涯スポーツを推進する秩父市スポーツ推進委員会ではソフトバレーボール大会を開催するなどのソフトバレーボールの普及に努めた結果、連盟設立の動きが出てきたため、完了事業として現在の活動を見直す時期に来ている。委員会は独自に事業を企画し運営を行っていることから、スポーツ教室の企画・運営を主管して頂くなど具体的な活動を検討していきたい。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)</p> <p>指導者の世代交代を図り、円滑な運営ができていない団体の事例を、定期的な会議の席で紹介するなど、先進事例の情報提供をしていく。</p> <p>毎年スポーツ少年団では母集団研修を開催しているが、市が個々の団体の指導者の世代交代を図るのは困難である。今後は各団体が円滑に運営できるよう埼玉県内の事例を参考にしていきたい。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>奨励金制度では、競技により制度を活用し易い団体とそうでない団体が制度上生じてしまっている。公平性の面から、この点については有識者の意見を交えて検討していく。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>体育協会加盟団体の会員の高齢化も懸念されるため、次世代指導者の育成面での支援をしていく。今後、市の財政負担を軽減するため、民間からの支援を受ける検討。</p> <p>スポーツ振興くじでの助成を検討したが、法人格を有する団体が要件となっているため、活用できなかった。スポーツの助成に関してはスポーツ振興くじ助成に一本化されつつある。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー スポーツ愛好者の世代間交流が図られ、それぞれの団体活動の活性化が期待でき、市のスポーツ振興にも大きく関係していくと思われる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	05040002	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	スポーツ推進事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
			総合振興計画 86 ページ

基本事業の概要	市やスポーツ推進委員会が主催・主管する各事業または、体協加盟団体が実施する各教室を実施することにより、スポーツに親しむ環境を整え、各種スポーツの振興・発展、市民の健康増進を図る。また、学校体育施設の開放利用を促進することで、身近にスポーツを楽しめる場所を提供する。
---------	--

対象	市民、各種スポーツ団体加盟の市民及び体育指導委員
意図 (対象をどのようにしたいか)	健康に関心を持つ市民の増加とスポーツ愛好者の増加

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
推進事業参加者数	バスハイク参加者・お家でできる参加者・教室参加者・学校開放延べ人数	人	120,529	130,000	120,937	130,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	市民バスハイキング事業	指標 参加者	627,758	494,123	665,000	200	C	
							縮小 縮小	
02	お家でできる健康講座開催事業	指標 参加者	396,124	400,000	400,000	150	C	◎
							維持 拡充	
03	スポーツ教室等開催事業	指標 実施団体	443,820	460,000	560,000	21	A	
							維持 維持	
04	学校開放事業	指標 利用者数	1,825,510	1,695,461	1,897,000	130,000	A	
							維持 維持	
05	社会体育事務	指標 研修会参加回数	128,483	168,538	101,000	10	A	
							維持 維持	
06	★ 公用車購入	指標	0	1,999,800	0		D	
							完了 完了	
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		4,065,000	5,934,000	
事業費の合計(円) (A)		3,421,695	5,217,922	3,623,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	3,421,695	5,217,922	3,623,000
正規職員	業務量	0.60人	0.86人	
	人件費(B)	3,565,354	5,177,631	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		6,987,049	10,395,553	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はなにか？ 自己の健康に関心を持つ市民の増加と、スポーツ愛好者の増加を図る指標として、参加者数や利用者数を指標とした。学校開放は地域スポーツの活動拠点として有効であるが、利用希望の団体が多く、新規利用を希望しても利用できない場合がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 個人や団体活動でスポーツを楽しむ市民と、競技力向上を楽しみに活動する市民など、スポーツを行う目的や楽しみ方が違う市民のニーズに応える事業としている。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 学校開放事業は、学校が管理する体育施設を学校教育に支障のない範囲で有効利用することで、市民の健康や体力の向上につながり、市のスポーツ振興には必要な事業である。スポーツの推進を図る環境整備に市が主体となることは妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
スポーツを実施または、継続していくために意識の高揚が必要である。意識の高揚の手段として、お家でできる健康講座事業としてウォーキング教室やスポーツ講演会を実施している。前年まで、スポーツ講演会等への参加者が少なかったため、今後は、講演会でなくスポーツ教室を開催し多くの方に有名選手直接指導してもらえる機会を設けたい。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	昨年度「大林素子のバレーボール教室」を実施したところ、参加した子供たちに、大変好評であり、夢と希望を与えられた。今後も、「お家でできる健康づくり講座」では他課で実施できない事業として実技指導を行う「スポーツ教室」を実施していきたい。	ウォーキングの慣行を推奨している。動機つけのためウォーキングカードを発行し、PRし参加人数を増やしていきたい。講演会は傍聴者が少なかったため、スポーツ実技教室を開催することにより、参加者数の増加とスポーツの振興を図りたい。 ウォーキングカード利用者が少ないため見直しやPRが必要。大林素子さんをお招きしてバレーボール教室を開催したところ参加者から、好評をいただいた。
短期的(1～2年以内)に実施可能な改善提案	市民パスハイキングの参加者が、年々減少している。費用対効果や実施主体の妥当性の観点から、事業の廃止又は他に代わる事業を行うことを、主に実施していただいている秩父市スポーツ推進委員会と検討していく。	
中長期的(概ね3～5年)に実施可能な改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
スポーツ推進委員の活動を市民のニーズに沿った活動への移行ができる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	05040003	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	スポーツ大会開催事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
			総合振興計画 86 ページ

基本事業の概要	スポーツを楽しんでもらい、競技力の向上およびスポーツ人口の拡大を図る。
---------	-------------------------------------

対象	スポーツに関係する市民、市外者、競技団体
意図 (対象をどのようにしたいか)	競技力の向上と競技者の人口を増やす。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
生涯スポーツ推進大会参加者数		人	1,008	1,000	1,064	1,300	
秩父宮記念ミュージズの森チャレンジロードレース大会参加者数		人	2,024	2,000	2,337	2,400	
ペタンク大会参加チーム数		団体	101	100	226	240	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標				単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			24年度			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	目標値(上段) 実績値(下段)			
01	生涯スポーツ推進事業	指標 参加者数	200,000	180,600	298,000	1,000	A	
						1,064	維持 維持	
02	チャレンジデー開催事業	指標 参加率	250,000	250,000	250,000	50	A	
						55.1	維持 拡充	
03	市民スポーツ大会委託事業	指標 実施団体数	750,000	870,000	840,000	23	A	
						29	維持 維持	
04	★ 秩父宮記念ミュージズの森チャレンジロードレース大会開催事業	指標 参加者数	2,000,000	1,500,000	1,500,000	2,000	B	◎
						2,337	維持 拡充	
05	ペタンク競技推進事業	指標 参加者数	100,000	250,000	250,000	100	B	○
						226	維持 拡充	
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		3,438,000	3,118,000	
事業費の合計(円) (A)		3,300,000	3,050,600	3,138,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
正職員	地方債			
	その他特定			
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	3,300,000	3,050,600	3,138,000
	業務量	1.20人	1.20人	
人件費(B)		7,130,707	7,224,601	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		10,430,707	10,275,201	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	スポーツ愛好者を増やす意図に沿い、参加者数を指標としているので、目標値の設定は適正であると考えます。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ この事業は、スポーツを楽しんでもらい、競技力の向上及びスポーツ人口の拡大を図ることを目的としているので、各種スポーツ団体と連携を取ながら競技大会を実施するという意味で妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 事業の運営主体(主管)は、各競技団体が担っているが、当課と調整しながら効率よく事業を進めている。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 マラソンプームから、ミューズの森チャレンジロードレースには多くの参加者がある。平成24年度は、2,337人であった。今後、コストを掛けずに参加者増加を目指し、今話題の公務員ランナーの川内選手を招待選手として参加いただくよう交渉していきたい。また、ペタンクは、25年26年度の2か年東日本ペタンク選手権大会を開催。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) チャレンジデーは、広く市民へ周知しきれていないため、町会長や町会役員へ働きかけ、全町会が参加する事業へと展開できるようにする。ロードレースは、21年度の事業統合で一層参加者が増加した。新緑の季節で、天気によっては気温の上昇が心配されるため、安全面への配慮を強化する。 チャレンジデーは、24年度55.1%の参加率で阿波市に勝利できた。ロードレースは、大きな事故なく開催できた。
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案	
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー それぞれの事業を一層充実させることで、市民の健康の維持増進、体力の向上を期待する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	05040004	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	体育施設管理運営事業		
総合振興計画	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
			総合振興計画 86 ページ

基本事業の概要	体育施設の維持、管理等に関する業務を委託し、施設の円滑な利用を図る。
---------	------------------------------------

対象	体育施設利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	各種体育施設を安心・安全に、また快適に利用してもらう。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
事故発生件数		件	0.	0.	0.	0.	
施設のAED設置率	設置施設数/設置希望施設数12	%	100.	100.	100.	100.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標				単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			24年度			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	目標値(上段) 実績値(下段)			
01	体育施設利用受付事業	指標 苦情数			0.	件	A	
		238,701	776,358	2,938,000	0.		維持 維持	
02	体育施設管理事業	指標 ランニングコストの削減			-10.	%	A	◎
		11,140,435	12,040,130	12,353,000	-4.		維持 維持	
03	別所運動公園施設管理事業	指標 施設稼働率			98.	%	A	○
		6,531,129	6,459,315	6,994,000	98.		維持 維持	
04	影森グラウンド施設管理事業	指標 施設稼働率			98.	%	A	
		3,550,524	4,097,581	4,527,000	98.		維持 維持	
05	スポーツ健康センター管理事業	指標 施設稼働率			98.	%	A	
		8,467,459	9,777,242	9,442,000	98.		維持 維持	
06	夜間照明施設管理委託事業	指標 利用可能施設数			4.	施設	A	
		1,048,230	996,425	1,111,000	4.		維持 維持	
07	荒川運動公園施設管理事業	指標 施設稼働率			97.	%	A	
		10,822,195	11,141,263	11,850,000	98.		維持 維持	
08	吉田地区体育施設管理事業	指標 施設稼働率			90.	%	A	
		10,063,157	10,880,399	12,101,000	98.		維持 維持	
09	大滝体育館管理事業	指標 施設稼働率			90.	%	A	
		3,698,072	3,894,381	4,513,000	98.		維持 維持	
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 65,136,000 65,783,000

事業費の合計(円) (A) 55,559,902 60,063,094 65,829,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	55,559,902	60,063,094	65,829,000

正規職員	業務量	1.05人	1.05人
	人件費(B)	6,239,369	6,321,526
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 61,799,271 66,384,620

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C, B	B, C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	廃止	D	x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？ 体育施設管理事業については、利用者が常に安心・安全また快適に利用していただける状態にしておく必要があるため、適切だと考える。また、基本事業指標と目標値の設定については、適切だと考える。実績値にも問題ない。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 安全指標と同様に重要な各体育施設のランニングコストがかかるため、事務事業は妥当だと考える。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ それぞれの実施主体(委託先)については、例規等の規定を元に選考しており、委託金以上の業務をしていた。また、市の委託だけではどうしても足りない草刈などを利用者の方が独自にボランティアで行っていただいている現状もある。今後、委託料等が減額された場合には、利用者の方に安心・安全また快適に利用していただける環境を維持する事が難しくなる。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 今後も、ランニングコスト削減を目指し管理運営を行っていく。また、修繕箇所については予算内で優先順位を付け随時行い安全な施設管理を行っていきたい。25年度は、別所グラウンド管理棟にエアコンを設置する。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案		
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	施設管理では、市民が安心・安全で且つ快適にスポーツ活動ができる環境を維持することが重要である。そのため、老朽化し危険な器具や施設箇所等を早期に把握し、的確に修繕していく必要がある。そのためにも、主に利用する各スポーツ団体と連絡を密にするとともに、利用者へのニーズに耳を傾け、視察管理に努める。	施設管理では、市民が安全で且つ快適にスポーツ活動ができる環境を維持することが重要であり、老朽化し危険な器具や箇所等を早期に把握し、的確に修繕していく必要がある。そのためにも、各スポーツ団体と連絡を密にし、視察管理に努める。 各スポーツ団体や利用者からのニーズをまとめ、緊急性や必要性等を検討・考慮し、順位を付け予算の可能な限り、修繕を実施する事が出来た。積極的に、施設の現状を確認する為、視察も行った。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 市民が安心・安全で且つ快適にスポーツ活動ができる環境を維持することができる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	05040005	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	体育施設整備事業		
総合振興計画	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
		総合振興計画	86 ページ

基本事業の概要	体育施設の整備を行い、安全及び利便性の高い施設提供をするとともに、平成20年度に策定した体育施設整備5か年計画(平成21年度～平成25年度)を遂行していく。
---------	--

対象	体育施設を利用する人
意図 (対象をどのようにしたいか)	5か年計画に基づき整備を行い、安全に利用してもらう

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
5か年計画整備件数		件	11	15	4		
事故件数		件	0	0	0		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	★ スポーツ健康センター床改修工事	指標	体育施設整備件数	1	1	件	D	
		0	1,659,000	0	1		完了	完了
02	取方柔道場網戸設置工事	指標	体育施設整備件数	1	1	件	D	
		0	144,270	0	1		完了	完了
03	吉田中学校柔剣道場屋根修理工事	指標	体育施設整備件数	1	1	件	D	
		0	187,195	0	1		完了	完了
04	荒川8支部運動場フェンス撤去工事	指標	体育施設整備件数	1	1	件	D	
		0	988,050	0	1		完了	完了
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13	【23年度終了事業】	指標						
		11,955,300						
14	★ 【25年度事業】 市営馬場用地測量業務委託・建築設計業務委託	指標		9,986,000				◎

(参考) 最終予算額(円)		14,500,000	3,831,000	
事業費の合計(円) (A)		11,955,300	2,978,515	9,986,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	11,955,300	2,978,515	9,986,000
正規職員	業務量	0.89人	0.89人	
	人件費(B)	5,288,608	5,358,246	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		17,243,908	8,336,761	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題は無いか？
基本事業指標の分析	市営体育施設が全体的に老朽化してきている。その為修繕等に対応し、一時的に状況をつなぎとめている様な現状である。平成23年度に補助金等を利用し、体育施設の大規模改修を行った経緯があったが、市の財政状況を考えると、今後も同様に補助金等を利用していく必要がある。体育施設の老朽化は、事故につながる恐れがあるため、必要な改修工事については、今後も要求していきたい。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 体育施設も老朽化により、随所に修繕を行いながら運営を行っている状況ではあるが、修繕だけでは追いつかない部分もあり、大規模改修が必要となってきたため妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 市営体育施設であり、日常管理なども行っているため、市で改修を行うのは妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
★市営馬場用地測量業務委託・建築設計業務委託	秩父広域市町村圏組合の秩父斎場移転事業で、市営馬場を羊山公園内に移転する事業。H25年度に敷地測量・建築設計委託業務、H26年度に建築工事行う2ヶ年の事業である。	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 本事業は、老朽化の進む秩父斎場に替わる新火葬場の建設事業のために行うもので、現斎場は圏域唯一の火葬場であるため、火葬業務が滞らないよう計画どおり、市営馬場を移転させなくてはならない。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案		
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	移転経費は、基本的には秩父広域市町村圏組合の火葬場移転補償費であり、秩父広域市町村圏組合は、秩父市を初めとする周辺自治体の出資で運営しているため、移転補償費を抑えることは、市の財政課健全化に貢献できる。そのため、市営馬場の建築にあたっては、地元産木材を推奨した林野庁の補助制度を活用して、移転補償費を抑えたい。	秩父市市営スポーツ施設整備5年計画も4年目を迎え、計画の達成率を上げられるよう予算要求していきたい。 施設の老朽化に伴い、その修理工事を優先せざるを得ず、予算確保の問題で、達成率が悪い。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 施設整備計画の達成率を上げることで、大勢の市民が積極的にスポーツ活動が出来るようになる。また、平行して市の財政状況を説明し、計画の進捗について理解を求めていく。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	05040006	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	文化体育センター管理運営事業		
総合振興計画	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
			総合振興計画 86 ページ

基本事業の概要	文化体育センター管理運営業務を指定管理者へ委託し、円滑な運営・管理・利用・整備を図る。
---------	---

対象	文体センター及び利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	文化体育センターを安全・快適に利用してもらう

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
使用料収入		円	8,049,408.	9,000,000.	8,683,375.	9,000,000.	
事故発生件数		件	0.	0.	0.	0.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	文化体育センター指定管理事業	指標	文体センター開館日数	310.	313.	日	B	◎
			44,228,000	47,414,296	47,286,000		縮小	維持
02	文体センター修繕事業	指標	事故件数	0.	0.	件	D	
			0	645,330	0		完了	完了
03	文体センター備品購入事業	指標	文体センター利用者数	81,000.	101,196.	人	D	
			0	461,790	0		完了	完了
04	文体センター改修事業	指標	体育施設整備件数	1.	1.	件	D	
			8,948,100	1,537,200	3,728,000		完了	完了
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		56,532,000	50,275,000	
事業費の合計(円) (A)		53,176,100	50,058,616	51,014,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
一般財源	地方債			
	その他特定			
	一般財源	53,176,100	50,058,616	51,014,000
正規職員	業務量	0.20人	0.20人	
	人件費(B)	1,188,451	1,204,100	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		54,364,551	51,262,716	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切であり、安全にまた、円滑に運営をしていくためには必要な指標であると考えられる。達成できていない指標については、来年度以降指定管理者と協議していく。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 問題ない。安全にかつ潤滑に運営を進めていくうえで、お客様のニーズや安全性というのは必要不可欠である。今後も必要に応じて、修繕等を行いながら運営をしていく。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 適切だと考えるが、財政厳しい折予算削減等も叫ばれている。今後必要に応じては、指定管理料の減額等も検討が必要である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 文化体育センター管理運営事業において、やはり一番の重点事業は管理業務である。現在管理業務は、指定管理者の秩父市地域振興公社へ委託している。文化体育センターの利用者を増加させたり、快適な体育施設環境を維持するためには、指定管理者へ丸投げすることなく、常に市も監督・または共に協力することが必要である。また、指定管理者の職員の意識向上等の指導も必要である。現在、文化体育センターでは、利用者拡大ため市民スポーツ課と協力し、自主事業で「スポーツサークル」などスポーツと婚活を合わせて事業を実施している。今後もこのような斬新な事業展開が必要である。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急の実施可能な改善提案	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) スポ婚のような、斬新なアイデアでスポーツを通じたイベントの開催。 スポ婚は、多くの参加者があり、実際に結婚したカップルもあった。当初の実施から反省点を洗い出し、「スポーツサークル」に発展し、婚活とスポーツを組み合わせ施設の利用向上に努力している。
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	指定管理業務委託料の削減について、財政課と委託先との調整を行うとともに、現在65歳以上の方は、無料で施設を利用できているので、利用料金形態も検討する必要がある。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 利用料金の増加と利用者数の減少が見込まれる。利用者には、毎回1個ずつスタンプを集め、10個たまると次回無料になるポイントカードの案内をするなどして、少しでもお得に利用出来るよう周知する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	05040007	担当課所名	市民スポーツ課
基本事業名	温水プール施設管理運営事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	3	スポーツの振興
			総合振興計画 86 ページ

基本事業の概要	温水プールの管理運営。平成18年度より指定管理者制度を導入し、平成24年度から3か年の管理者を新たに指定し運営する。
---------	--

対象	温水プール及び利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	温水プールの利用向上、より効果的な管理運営、施設の維持及び円滑かつ安全な利用を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
利用者数		人	67,254	70,000	64,049	70,000	
使用料収入		円	6,632,450	7,000,000	6,435,350	7,000,000	
事故件数		件	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	温水プール指定管理事業	指標 利用者数			70,000	人	B	◎
		32,095,000	33,681,000	33,681,000	64,049		縮小	維持
02	温水プール改修事業	指標 事故件数			0	件	D	
		0	0	2,208,000	0		完了	完了
03	備品購入事業	指標 購入件数			0	件	D	
		0	0	0	0		完了	完了
04	★ 濾過装置濾材交換工事	指標 事故件数			0	件	D	
		0	4,704,000	0	1		完了	完了
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		32,095,000	38,717,000
事業費の合計(円) (A)		32,095,000	38,385,000
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
正規職員	地方債		
	その他特定		
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	32,095,000	38,385,000
	業務量	0.20人	0.20人
人件費(B)		1,188,451	1,204,100
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		33,283,451	39,589,100

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切であり、安全にまた、円滑に運営をしていくためには必要な指標であると考えられる。達成できていない指標については、来年度以降指定管理者と協議していく。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 問題ない。安全にかつ潤滑に運営を進めていくうえで、利用者のニーズや安全性というのは必要不可欠である。今後も必要に応じて、修繕等を行いながら運営をしていく。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 適切だと考えるが、財政厳しい折予算削減等も叫ばれている。今後必要に応じては、指定管理料の減額等も検討が必要である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 温水プール管理運営事業において、やはり一番の重点事業は管理業務である。現在管理業務は、指定管理者の秩父市地域振興公社へ委託している。温水プールの利用者を増加させたり、快適なプール環境を維持するためには、指定管理者へ丸投げすることなく、常に市も監督・または共に協力することが必要である。また、指定管理者の職員の意識向上等の指導も必要である。特に、プールでの事故は、重大な事故につながる確率が高いため管理業務は特に重要である。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 消防署で行っている、普通救命講習やAED講習会を現在も実施しているが、より回数を増やすなどし、緊急時に対応できる体制を整えておく。 スポーツを通じたイベントの開催。 ----- スポーツ教室、初心者教室を開催。
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	20代から40代の利用実績の少ない年齢層を対象とした、教室・講座を開催。 ----- 実施できなかったが、今後も検討していく。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	現在、65歳以上の方は使用料が無料になっており、65歳以上の方での利用も多い状況を見ると、今後65歳以上の利用者からも利用料金を徴収するとともに、全体的な利用料金体系を見直しを検討する。利用料金収入が増額できれば、指定管理料の減額にもつながってくる。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 利用料金の増加と利用者数の減少が見込まれる。利用者には回数券や半年券、年間券の案内をするなどして、少しでも利用し易くなるよう周知する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	田端 保之	電話番号 0494-25-5230
----------------------	-------	----------------------